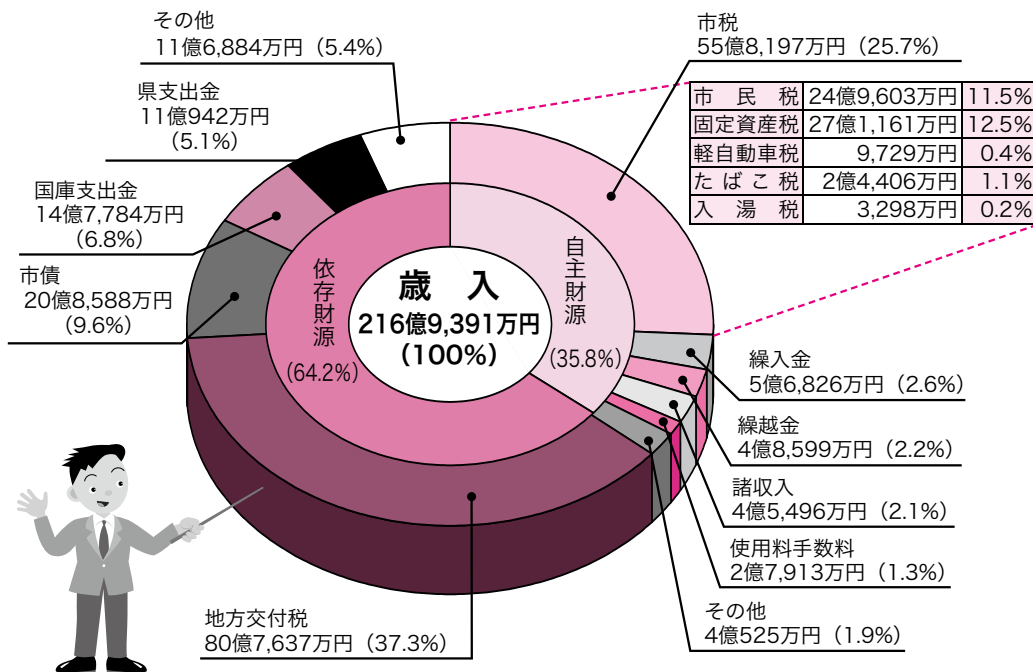


平成20年度決算報告

平成20年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。そこで、市民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。



平成20年度の歳入については、配当割交付金や株式等譲渡所得割交付金が大幅に減収となりましたが、市税収入の確保に努めるとともに、財政調整基金繰入金及び市債等の活用により所要の財源を確保しました。

歳出については、御前山小学校建設事業や道路整備事業をはじめとして総合計画等に基づく事業を執行するとともに、国の緊急経済対策事業との整合を図りながら各種施策を推進しました。

一般会計の歳入決算額は216億9,391万円、歳出決算額は211億2,810万円、歳入と歳出の決算額の差が5億811万円あり、このうち平成20年度に完了しなかった事業（繰越事業）にあてる財源1億1,157万円を除いた4億5,424万円は、平成21年度の一般会計予算へ繰り越しています。

平成20年度末市債の現在高

区分	現在高
一般会計	
合併特例事業債	52億6,010万1千円
過疎対策事業債	53億5,687万3千円
その他	172億9,254万円
一般会計計A	279億951万4千円
※Aから地方交付税算入分を除いた市債残高	105億6,149万6千円
特別会計・企業会計	
国保診療施設勘定	1,986万1千円
公共下水道事業	31億9,031万9千円
農業集落排水事業	41億399万2千円
戸別浄化槽整備事業	2億3,229万9千円
簡易水道事業	29億6,966万円
宅地造成事業	1億6,242万7千円
温泉事業	1億5,570万5千円
上水道事業	14億830万6千円
特別会計等計B	122億4,256万9千円
※Bから地方交付税算入分を除いた市債残高	73億5,235万2千円
合計 (A + B)	401億5,208万3千円
※合計 (A + B) から地方交付税算入分を除いた市債残高	179億1,384万8千円

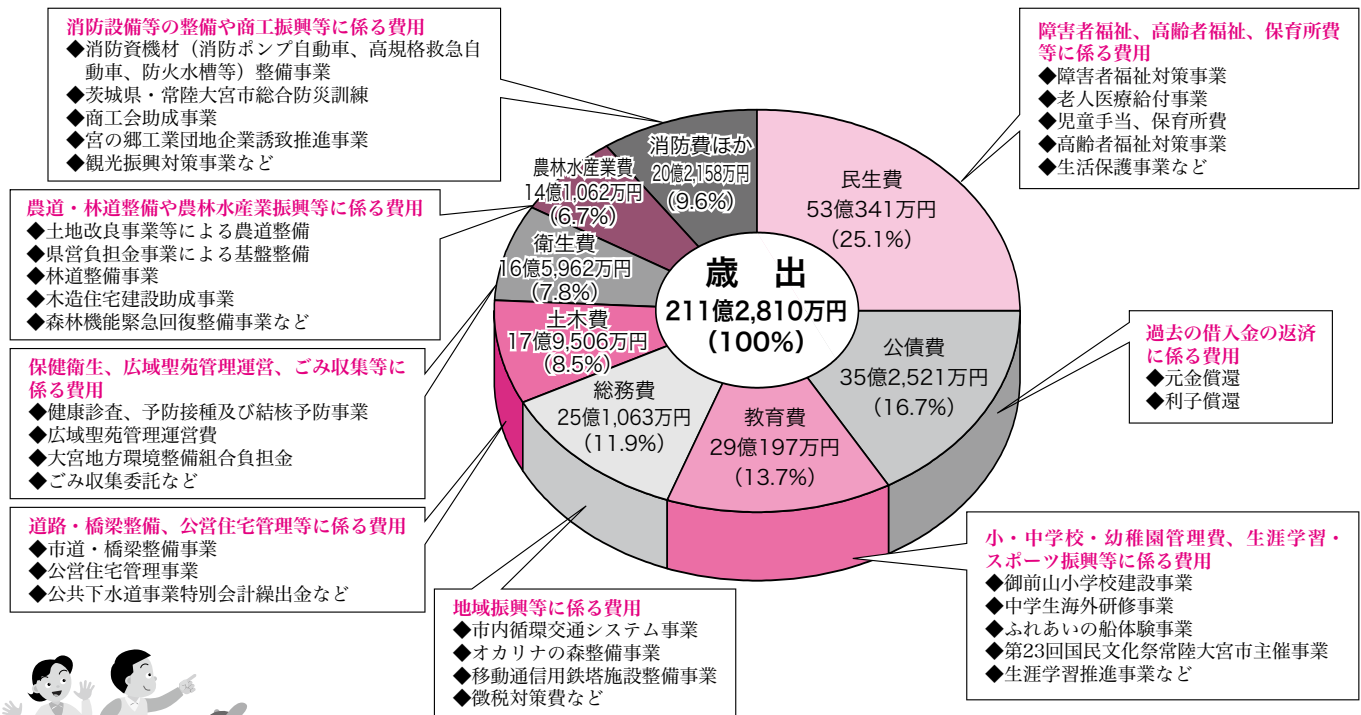
※印の項目は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補てんされる市債があり、それらの市債の残高から補てんされる金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

特別会計・公営企業会計

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A - B)
国民健康保険			
事業勘定	47億5,202万円	46億6,367万円	8,835万円
診療施設勘定	2億3,235万円	2億1,796万円	1,439万円
老人保健	6億5,802万円	6億4,994万円	808万円
公共下水道事業	8億7,635万円	8億5,008万円	2,627万円
公営墓地	4,520万円	738万円	3,782万円
農業集落排水事業	12億5,006万円	12億1,606万円	3,400万円
介護保険	35億5,101万円	34億7,025万円	8,076万円
簡易水道事業	10億4,995万円	10億1,575万円	3,420万円
宅地造成事業	4,154万円	4,120万円	34万円
戸別浄化槽整備事業	5,407万円	4,669万円	738万円
温泉事業	1億7,250万円	1億7,136万円	114万円
後期高齢者医療	3億9,558万円	3億9,442万円	116万円
上水道事業			
収益的収支	6億8,029万円	6億5,570万円	2,459万円
資本的収支	1億1,154万円	3億2,128万円	△2億974万円
合計	138億7,048万円	137億2,174万円	1億4,874万円

※上水道事業会計の資本的収支の差引△2億974万円(不足額)は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんされます。

■問い合わせ先■ 財政課 財政グループ ☎ 52-1111 内線 375



『我が家の家計簿』

財政用語が難しかったり、金額の桁数が大き過ぎて実感がわかないと言われることが多いので、市の財政状況を身近に感じていただけるように、平成20年度一般会計決算の規模を歳入額で500万円に縮小して、『我が家の家計簿』に例えて表現してみました。市の財政と家庭の家計簿では仕組みが違い、完全な置換えが難しいところが多々あることをご了解ください。

収 入			
収入費目	歳入区分（目的別）	市決算額	家計の支出
給料	市税・分担金及び負担金・使用料及び手数料など	65億4,523万円	151万円
実家からの援助	地方交付税・各種交付金・国県補助金など	118億3,247万円	273万円
不動産収入	財産収入など	1億7,608万円	4万円
銀行などからの借入金	市債	20億8,588万円	48万円
貯金の取崩し	繰入金	5億6,826万円	13万円
前年度からの繰越金	繰越金	4億8,599万円	11万円
1年間の収入合計		216億9,391万円	500万円

支 出			
支出費目	歳出区分（性質別）	市決算額	家計の支出
食費	人件費	48億9,492万円	113万円
電気・水道代などの日常生活費	物件費	28億3,119万円	65万円
医療費・介護費用など	扶助費	24億869万円	56万円
ローンの返済	公債費	35億2,521万円	81万円
家・車の修理代など	維持補修費	1億2,559万円	3万円
区会費・お祝金など	補助費等	17億5,770万円	40万円
子どもへの仕送り	繰出金	27億7,938万円	64万円
家の増改築・車の購入代など	投資的経費（普通建設事業費・災害復旧費）	25億4,445万円	59万円
友人への融資	投資及び出資金・貸付金など	862万円	0円
貯金	積立金	2億5,235万円	6万円
1年間の支出合計		211億2,810万円	487万円

次年度への繰越金（収入－支出）	5億6,581万円	13万円
-----------------	-----------	------

市民のみなさんの 市税負担額と市の歳出額

区 分	1人当たり	世帯当たり
市 税 負 担 額	117,905円	328,680円
歳 出 額	446,277円	1,244,073円

※上記の金額は、平成21年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（47,343人、16,983世帯）を用いて算出しています。

市民1人当たり・世帯当たりの 基金及び市債の現在高

区 分	1人当たり	世帯当たり
基 金	積立基金	8万円
	定額運用基金	2万5千円
	合 計	10万5千円
市 債	一 般 会 計	59万円 (22万3千円)
	特別会計＋ 企業会計	25万8千円 (15万5千円)
	合 計	84万8千円 (37万8千円)
		164万3千円 (62万2千円)

※上記の金額は、平成21年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（47,343人、16,983世帯）を用いて算出しています。

また、市債の「1人当たり」及び「世帯当たり」の（ ）書きの金額は、地方交付税で補てんされる金額を除いています。